

【 診療科: 整形外科 】

【 レジメン登録番号: OP-07 】

〈 IE療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)																		
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21							
イホマイド*	1.8~2.0g/m ²	div	○	○	○	○	○														
エトボシド	100mg/m ²	div	○	○	○	○	○														

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 術前術後; OP-07と交互に治療、併せて17コースまで(ユーイング肉腫)、進行再発; 制限なし(再発骨肉腫・滑膜肉腫)】

【適応癌種: ユーイング肉腫・再発骨肉腫・滑膜肉腫 】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o

〈day2-3〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ウロミテキサン 800mg	div(2時間で)
	ソルデム1 500mL	
Rp.2	ウロミテキサン 650mg/m ²	div(8時間ごとに持続)
	強力ネオミ/ファーゲンシー 1A	
	メイロン20mL 2A	
	ソルデム3A 1000mL	
Rp.3	デキサート 9.9mg	div(30分で)
	グラニセトロン 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	イホマイド 1.8-2.0g/m ²	div(4時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.3	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	フロセミド 20mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.6	エトボシド 100mg/m ²	div(3時間で)
	5%ブドウ糖液 500mL	

〈day2-5〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ウロミテキサン 650mg/m ²	div(8時間ごとに持続)
	強力ネオミ/ファーゲンシー 1A	
	メイロン20mL 2A	
Rp.2	ソルデム3A 1000mL	div(30分で)
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	イホマイド 1.8-2.0g/m ²	div(4時間で)
	生理食塩水 500mL	
Rp.4	グラニセトロン 1A	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	フロセミド 20mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.6	エトボシド 100mg/m ²	div(3時間で)
	5%ブドウ糖液 500mL	

〈day6〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ウロミテキサン 650mg/m ²	div(8時間ごとに持続)*1
	強力ネオミ/ファーゲンシー 1A	
	メイロン20mL 2A	
	ソルデム3A 1000mL	

【参考文献: The Oncologist 2017;22:1265-1270 】

【備考:

①イホマイドの100%量のウロミテキサンを持続投与(初回はローディング)
 ②ユーイング肉腫ではVDC療法(OP-06)と交互に2サイクルずつ行った後に局所療法(手術・放射線療法)を加える。
 その後、両レジメン合わせて計17サイクルまで施行する。】

【備考: ※1 メイン16時で終了】

【変法情報:

】